

ベートーヴェン没後200年&
メジャーエワ日本コンサートデビュー30周年記念・特別企画

徹底的に、ベートーヴェン。

イリーナ・メジャーエワ

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全32曲
+ディアベリ変奏曲 演奏会
<全6回> 1st Half

photo: © Seiji Banda

第1回：《熱情》

2026年

9月13日(日) 14:00開演
(13:15開場)

ピアノ・ソナタ第1番 ヘ短調 Op.2-1
ピアノ・ソナタ第2番 イ長調 Op.2-2
ピアノ・ソナタ第3番 ハ長調 Op.2-3
ピアノ・ソナタ第22番 ヘ長調 Op.54
ピアノ・ソナタ第23番 ヘ短調 Op.57 《熱情》
プレトーク：かげはら史帆(著書「ベートーヴェン捏造」ほか)

※各回休憩2回あり 第4回：6月19日(土)／第5回：9月25日(土)／最終回：12月11日(土) [詳細後日発表]

第2回：《悲愴》《ワルトシュタイン》

2027年

1月23日(土) 14:00開演
(13:15開場)

ピアノ・ソナタ第4番 変ホ長調 Op.7
ピアノ・ソナタ第5番 ハ短調 Op.10-1
ピアノ・ソナタ第6番 ヘ長調 Op.10-2
ピアノ・ソナタ第7番 ニ長調 Op.10-3
ピアノ・ソナタ第8番 ハ短調 Op.13 《悲愴》
ピアノ・ソナタ第21番 ハ長調 Op.53
《ワルトシュタイン》
プレトーク：亀山郁夫(名古屋外国語大学学長)

第3回：《月光》《葬送》

～ベートーヴェン200回目の命日に～

2027年

3月26日(金) 19:00開演
(18:15開場)

ピアノ・ソナタ第9番 ホ長調 Op.14-1
ピアノ・ソナタ第10番 ト長調 Op.14-2
ピアノ・ソナタ第11番 変ロ長調 Op.22
ピアノ・ソナタ第12番 変イ長調 Op.26 《葬送》
ピアノ・ソナタ第13番 変ホ長調 Op.27-1
ピアノ・ソナタ第14番 嬰ハ短調 Op.27-2 《月光》
プレトーク：桐竹勘十郎(人形浄瑠璃文楽 人形遣い 人間国宝)

 浜離宮朝日ホール

全席指定：一般 6,000円、学生 3,000円
一般 3回セット券 15,000円、学生 3回セット券 6,000円 (全て税込)

前半3公演分セット券&1回券 3月7日(土)AM10時 一般発売!

[プレイガイド] チケットぴあ、イープラス、朝日ホールチケットセンター、オフィス山根 ※セット券取扱は「チケットぴあ」のみ

必見!

特別企画1 ◆ 3公演セット券をお求めの方にはメジャーエワ未発表音源(CD-R)をプレゼント!(会場でチケットを見せて引換。曲は受取ってからのお楽しみ)
特別企画2 ◆ 6公演全てご来場頂いた方には〈全曲演奏回記念&限定〉スペシャルトートバッグをプレゼント!
特別企画3 ◆ 各回、開演30分前からプレトーク有り(約15分)。異なるゲストによる多彩なトークでさらにベートーヴェンを多角的に知る!

主催&問合せ：オフィス山根 contact@officeyamane.net

協力：日本ピアノサービス株式会社

使用楽器：1925年製 NEW YORK STEINWAY CD135 'Art-Vintage'® (日本ピアノサービス株式会社所有)

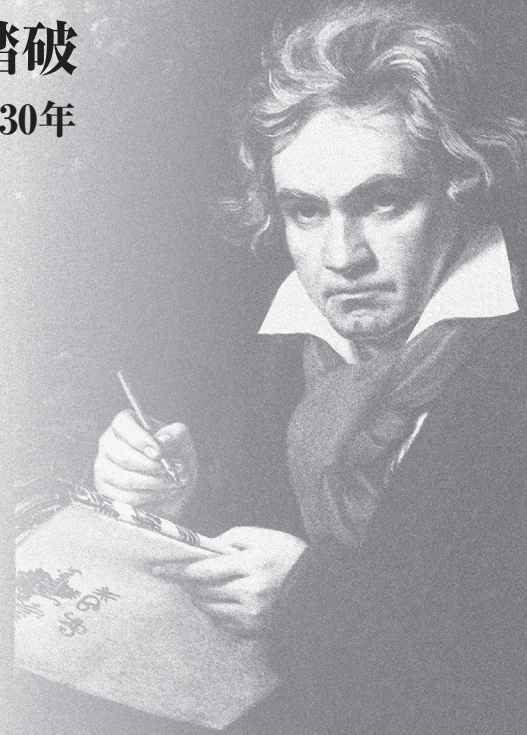
※未就学児童はご入場頂けません。
※プログラムは予告なく変更となる場合がございます。

全6回、15ヶ月。ベートーヴェン完全踏破

ベートーヴェン没後200年 & メジューエワ日本デビュー30年 ピアノ・ソナタ全32曲 + ディアベリ変奏曲

ベートーヴェンがウィーンで亡くなったのは1827年3月26日だった。3日後に行われた葬儀にはなんと2万人もの市民が押し寄せ、世紀の天才の死を悼んだという。ベートーヴェンはほぼ生涯にわたりピアノ・ソナタを書き続け、32曲(演奏時間にして10時間を超える)が残されることとなった。全てが個性的であり、全てが特別な曲だ。苦難の人生とともに生み出され続けた、まさしくベートーヴェンの生涯の縮図である。その芸術の高みを表現しようと、古今東西無数のピアニストたちが演奏に挑んできた。そしてこのたび、32曲をすでに2度も全曲録音し、全曲演奏回も果たし、いずれも極めて高い評価を得たメジューエワが、没後200年を記念し再び全曲演奏会に挑む。しかもなんと全6回で一気に弾くという(さらには晩年の超大作《ディアベリ変奏曲》も演奏される!)。この計画を耳にした時「とんでもない公演になる」と瞬時に理解した。重量級の企画にだれもが圧倒されることは間違いがない。絶対に6公演すべてを聴いて、偉大なベートーヴェンの宇宙に浸りきってほしい!

山根悟郎



イリーナ・メジューエワ (ピアノ)



© Seiji Banda

ロシア出身。モスクワのグネーシン特別音楽学校とグネーシン音楽大学でウラジーミル・トロップに師事。1992年、第4回E.フリプセ国際コンクール(オランダ)にて優勝。

1997年から日本を本拠地として活動。2002年、スタインウェイ・ジャパン株式会社による国内コンサートツアー。2005/06年にはザ・シンフォニーホール(大阪)で4回にわたるリサイタル・シリーズに出演。2006年からは毎年京都でリサイタルを開催しているほか、2017/18年には東京文化会館・小ホールで日本デビュー20周年シリーズ演奏会(全3回)、2019/20年、名古屋・宗次ホールでのベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全曲演奏など、精力的な演奏活動を展開中。日本デビュー25周年を迎えた2022年には、京都コンサートホールでラフマニノフの所有していたスタインウェイを使用したリサイタルに出演、その模様がNHKにより放送されて話題を呼んだ。

バロックから近・現代までの幅広いレパートリーを手がけるが、近年再評価の進むロシアの作曲家 N.メトネルの紹介者としても名高い。

これまでにロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団など、国内外のオーケストラと多数共演。

通算100枚以上のCDをリリース。「ショパン:ノクターン全集」(若林工房)は2010年度レコードアカデミー賞(器楽曲部門)に輝く。

2006年度青山音楽賞受賞。2015年、第27回ミュージック・ペンクラブ音楽賞(クラシック部門、独奏・独唱部門)受賞。

著書に「ピアノの名曲 聴きどころ 弾きどころ」、「ショパンの名曲」がある。(いずれも講談社現代新書)。

【公式サイト】 <http://www.mejoueva.net/>

【使用楽器】

1925年製 NEW YORK STEINWAY CD135 'Art-Vintage'®

CDナンバーは、ニューヨークのスタインウェイ本社が貸し出しのために特別に所有したピアノの管理番号です。このCD135は、1925年に本社工場で製造され、長くコンサートやレコーディングに使われてきました。1900年初頭は、今日のいわゆる「スタインウェイ・モデル」が完成した黄金期にあたります。このピアノの特筆すべき魅力は、圧倒的なダイナミックレンジの広さと演奏者の微細なタッチの違いに応じて自在に変化する多彩な音色です。日本ピアノサービスは、1994年にCD135を入手し、スタインウェイの設計思想を熟知する熟練の技術者たちによって徹底したリビルトを行いました。'Art-Vintage'の名のもとによりがえった名器の鮮やかな音色にご注目ください。(日本ピアノサービス株式会社)

